

「第二次町田市環境マスタープラン」推進計画

後期アクションプラン(案)

市 民 意 見 募 集 結 果

実施期間：2016年9月21日～10月14日
ご意見数：2名の方から13件のご意見をお寄せいただきました。

<提出意見の内容>

(1) ご意見提出者 市民 2名
(2) ご意見提出手段 メール：2通

<ご意見の指摘箇所、提案数>

項 目		ご意見数
アクションプラン全体に関わるもの		3
第1章	-	0
第2章	基本目標1 地域で取り組む地球温暖化の防止について	3
	基本目標2 自然環境と歴史的文化的環境の保全について	3
	基本目標3 持続可能な循環型社会の構築について	1
	基本目標4 良好な生活環境の創造について	1
	基本目標5 環境に配慮した生活スタイルの定着について	2

<ご意見の概要と市の考え方>

※お寄せいただいたご意見は取りまとめの都合上、要約して掲載しています。

■ アクションプラン全体について

No	ご意見の概要	市の考え方
1	後期アクションプランと市全体の施策に一貫性を確保すること。また、町田市における計画の立ち位置を明確にし、施策を展開する上では、各担当部署との方向性に乖離が生じないように、全部署全職員への周知を徹底すること。	後期アクションプランは、庁内管理職をメンバーとする「環境管理委員会」で原案の検討を行っています。 この過程で、庁内関係部署における施策検討や意見集約が行われ、周知も図られています。 「環境マスタープラン」は、既に日々の業務の中で活かされていますが、後期アクションプラン策定後は、更なる取り組みを進めていきます。
2	計画策定には企業や市民の“当事者意識”を持った主体的な参加が欠かせない。そのためには、パブリックコメント等文書による意見募集のみならず、ワークショップなどを開催し直接市民の意見に触れるのも有効な手段ではないか。 市民・企業・行政が同じ目線で意思疎通を図る機会があれば、実態に即した建設的な議論ができる。	後期アクションプランは、市民意見交換会の意見を取り入れて策定した「環境マスタープラン」に基づく行動計画のため、公募市民・事業者・学識経験者で構成する「環境審議会」で審議を行い、その案に対して市民の方からご意見をいただく仕組みとしています。 なお、次期「環境マスタープラン」策定時には、意見交換会やワークショップなど、直接ご意見を伺う機会を設ける予定としています。
3	プラン全体のコンセプトを一言で伝えるための工夫が必要ではないか。 (例)「グリーンインフラストラクチャー」など興味を引く言葉で政策を提示する。	「環境マスタープラン」では、「望ましい環境像」(水とみどりとにぎわいの調和した環境都市まちだ)と5つの基本目標の実現を目指しています。 後期アクションプランでは、この「望ましい環境像」というコンセプトの周知・活用を通して施策の実現に取り組んでいきます。

■ 基本目標1. 地域で取り組む地球温暖化の防止について

No	ご意見の概要	市の考え方
1	打ち水の取り組み促進と家庭だけではない緑化施策の推進を求める。	基本目標1－[2]で、市民・事業者の取り組みとして「打ち水の取り組み」を掲載しています。基本目標2－[1]－③「身近なみどりを増やします」では、公園の整備等を施策化しています。いずれにおいても、多くの市民の方に取り組みを実践していただけるよう、更なるPRを進めていきます。
2	歩道だけではなく、車道にも透水性舗装の敷設を求める。	車道における透水性舗装については、東京都にて技術面の検証を継続して行っています。そのため、市では当面は歩道への敷設を進めていきます。
3	「グリーンインフラ」の取り組みなどで行われているような、道路・植栽・街路樹の下に雨水貯留浸透設備を敷設することによる貯水及び緑化の促進を求める。	基本目標1では、透水性舗装や屋上・壁面緑化等の施策を、基本目標2では、街路樹の適正な維持管理等の施策など、緑化の取組を進めています。ご意見にあるグリーンインフラの取り組みについては、今後の参考とさせていただきます。

■ 基本目標2. 自然環境と歴史的文化的環境の保全について

No	ご意見の概要	市の考え方
1	水辺の魅力発信につながるようなイベントの開催を求める。	NPO 法人鶴見川源流ネットワーク主催の「源流祭」に参加し、水辺の魅力の発信を行っています。重点事業9「水辺の魅力の発信」を進めるにあたり、ご意見を今後の参考にさせていただきます。
2	雨水も、貴重な水資源として再利用できるものである。活用法のわかりやすい情報発信や、子供向けイベントの実施などを求める。	雨水の再利用については、貴重な水資源としての活用の他に、温暖化防止対策の一面もあり、市庁舎でもトイレ排水や花壇の散水等に利用しています。今後、広報紙やホームページでの情報発信・各種イベント開催時の参考にさせていただきます。
3	雨水タンク導入の補助制度整備、並びに、貯めた水の使い方提案を求める。	「雨水タンク」導入の補助金制度については、今後研究していきます。貯めた水の使い方提案については、今後、広報紙やホームページで情報発信を行う際の参考にさせていただきます。

■ 基本目標3. 持続可能な循環型社会の構築について

No	ご意見の概要	市の考え方
1	生ごみ処理機で処理したものの使い方提案を求める。(家庭でできる活用法や、市民団体による家庭菜園での具体的な利用方法のレクチャーなど)	基本目標3-[3]-①で、生ごみ処理機の導入促進を取り上げています。この中には、利用者向けの講座の開催や生成物の利用方法の研究も含まれています。 今後の事業を進めるにあたり、ご意見を参考にさせていただきます。

■ 基本目標4. 良好な生活環境の創造について

No	ご意見の概要	市の考え方
1	下水の性質や、河川に流れ出す仕組みについては、大人でも知らない人が多いと思われる。水循環の機能を知ってもらうことにより、環境意識を高めていくような施策が必要なのではないか。	基本目標4-[2]-③で、河川の水質事故防止のための広報等による啓発や下水道の正しい使い方の指導・施設見学の受け入れを施策化しています。 広報紙やイベントを通じ町田市での下水道の仕組みに係る周知・啓発を行うとともに、施設見学等も実施しています。下水道の正しい使い方を知ることは、節水や水質改善だけでなく、豪雨による水害対策にもつながりますので、今後も更なる情報発信を行っていきます。

■ 基本目標5. 環境に配慮した生活スタイルの定着について

No	ご意見の概要	市の考え方
1	地域のお祭りやイベントにおける環境情報発信を求める。	基本目標5-[3]-①で、環境に関する情報の発信を施策化しています。毎年「環境月間」のイベントや「エコフェスタ」等において、環境全般の情報発信を行っているほか、地域で行われているイベントにおいても、各種PR活動を行っており、今後も続けていきます。
2	現状の生活に支障がないのであれば、市民の環境意識は低いままである。何かプラスαがあれば、より一層の取り組みにつながるのではないか。	基本目標3-[1]-①で施策化しているリサイクル広場では、ポイント特典を設け、資源化が可能な対象品目の持ち込みを推進するなど、市民の方に参加いただく各施策で、参加によるメリットを提示する工夫を行っています。 今後も更なる環境意識の醸成につながるような仕組みを検討していきます。